

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年12月27日

計画の名称	大丹波圏域広域観光活性化計画（重点）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	京都府												
計画の目標	大丹波圏域において、北近畿豊岡自動車道や舞鶴若狭自動車道、平成27年度に全線開通した京都縦貫自動車道を軸として、観光拠点間のアクセス強化等により周遊観光を促進し、観光エリアとしての魅力を高め、広域的な地域の活性化を目指す。  重点地区の丹波自然運動公園集積地区内の都市公園整備やアクセス道路整備を行い、観光エリアとしての魅力を高め、広域的な地域の活性化を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	300	A	300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H27	中間目標値 H29末	最終目標値 H32末
1	【兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数の増加（圏域内観光入込客数：亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市、舞鶴市）1,400万人（H27）から1,469万人（H32）に増加（69万人（5%）の増加） 【兵庫県・京都府 共通目標】 観光入込客数 （観光客の増加割合）=（評価時点の観光入込客数 - H27年度時点の年間観光入込客数） / （H27年度時点の年間観光入込客数） H26年度実績	1400万人	1442万人	1469万人
2	観光入込客数の増加（圏域内観光入込客数：亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市、舞鶴市）970万人（H27）から1,018万人（H32）に増加（48万人（5%）の増加） 【京都府丹波地域における観光入込客数】（圏域内観光入込客数：亀岡市、南丹市、京丹波町、綾部市、福知山市、舞鶴市） （観光客の増加割合）=（評価時点の観光入込客数 - H27年度時点の年間観光入込客数） / （H27年度時点の年間観光入込客数） H26年度実績	970万人	999万人	1018万人
3	【京都府 重点目標】 重点地区における観光入込客数の増加 58万人（H27）から60万人（H32）に増加（2万人（5%）の増加） 【重点地区における観光入込客数】 （観光客の増加割合）=（評価時点の観光入込客数 - H27年度時点の年間観光入込客数） / （H27年度時点の年間観光入込客数） H26年度実績	58万人	59万人	60万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0.00%となる。 その他事項については、備考-1に記載。														

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	公園	一般	京都府	直接	京都府	都市公園	施設整備	(府)丹波自然運動公園	施設整備 A=1.0ha(公園全体 A=53.1ha)	京丹波町						300	6.84	-	
		(1-A1-400) H30年度より重点計画で事業実施。																		
											小計						300			
											合計						300			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本整備計画の連携先である兵庫県と本整備計画作成主体である本府道路主管課において相互に調整を行い、実施する。	令和4年12月
	公表の方法 インターネット（京都府HP）での公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	丹波自然運動公園内の園路について、側溝の暗渠化等による拡幅を行った結果、歩行者の通行帯が確保されることとなり、来園者の移動の安全性が向上し、来園者数の増加にも寄与したと考えられる。 丹波自然運動公園内の駐車場について、敷砂利舗装であったところをアスファルト舗装とすることにより、車いすやベビーカーでの移動にも対応することができ、来園者の移動の利便性が向上し、来園者数の増加にも寄与したと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、京都府丹波地域の観光拠点（丹波自然運動公園等）の基盤整備を進める。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	京都府（丹波地域）および兵庫県（丹波地域）における観光入込客数		
	最終目標値	1469万人	【京都府】 R2実績値：7,984（千人） 南丹市園部町南八田地内における国道372号の現道部については、幅員狭小・線形不良区間を有しており、バスや自家用車等の通行に支障を来していたが、バイパス整備を行うことにより、交通の安全が確保され、観光周遊に関する利便性も向上したと考えられる。令和元年度の実績値では1,778万人となったものの、最終目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。【兵庫県】 R2実績値：3,634（千人） 県道篠山山南線や県道春日栗柄線の整備等により、安全で円滑な交通を確保し、拠点施設へのアクセス性が向上したと考えられる。また、竹田川や加古川の整備により拠点施設や周辺地域の治水安全度が向上したと考えられる。令和元年度の実績は507万人と基準年度430万人に比べて18%増加していたが、最終目標の評価時期である令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止による2度の緊急事態宣言発令や外出自粛の影響で、多くの施設でイベントの中止や臨時休業したことを受け、実績は363万人と基準年度430万人に比べて減少し、目標達成には至らなかった。
2	京都府丹波地域における観光入込客数		
	最終目標値	1018万人	南丹市園部町南八田地内における国道372号の現道部については、幅員狭小・線形不良区間を有しており、バスや自家用車等の通行に支障を来していたが、バイパス整備を行うことにより、交通の安全が確保され、観光周遊に関する利便性も向上したと考えられる。令和元年度の実績値では1,271万人となったものの、最終目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。【代表的な拠点施設の観光入込客数】 ・ 府民の森ひよし H26：47,936人、R2：43,260人（<参考> R1：57,485人）
3	重点地区における観光入込客数		
	最終目標値	60万人	丹波自然運動公園内の園路については、幅員狭小箇所が存在し、自動車と歩行者の交通が錯綜するため、園内の徒歩による移動に支障を来していたが、側溝の暗渠化等による拡幅を行った結果、歩行者の通行帯が確保されることとなり、来園者の移動の安全性が向上したと考えられる。令和元年度の実績値では59万人となったものの、最終目標の評価時期である令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標達成には至らなかった。【重点計画内の拠点施設の入込客数】 ・ 京都トレーニングセンター H28：1,466人、R2：6,609人（<参考> R1：13,845人） H28供用開始
	最終実績値	23万人	